

6月

ほけんだより

令和7年6月9日
やまだこども園
看護師 森・明時・大川

梅雨の時期になりました。湿度・温度ともに高くなり、天気が変わりやすいこの時期はもっとも体調を崩しやすい時期でもあります。こまめに水分摂取を行ったり、衣服の調整や室温の調整にも気を配りながら生活リズムを整えて元気いっぱいに過ごしていきましょう。

アデノウイルス

アデノウイルスは、多様な型があり、感染する体の場所によって様々な症状を引き起こします。免疫がつきにくく何回もかかる事があります。

潜伏期間

2～14日

症状改善まで

およそ3～7日

感染経路

飛沫感染・接触感染

(腸の中で増殖するため、便にも多く含まれ、オムツを替えたり、トイレを介して感染が広がりやすく注意が必要です。)

症状

鼻水・咳

発熱

熱が4～5日続きます。

1週間以上続くこともあります。

目の症状(充血・目やに・瞼の腫れ・涙が出る)

下痢・嘔吐・食欲不振



アデノウイルス感染症の中で特に多い病気

流行性角結膜炎(はやり目)

目の充血や目やになどの症状が出ます。感染力も非常に強く症状が消失し**医師の許可**があるまで**出席停止**となります。

咽頭結膜熱(プール熱)

アデノウイルス感染症のうち、**発熱**、**結膜炎**、**咽頭炎**の症状が揃った時に診断され症状が消失した後**2日を経過**し、**医師の許可**があるまでは**出席停止**となります。

感染性胃腸炎

嘔吐や下痢が主な症状で、症状がひどい場合は高熱を起こすこともあります。症状がある間は感染拡大する可能性があるため、お休み頂くか病後児保育室の利用をおねがいします。

治療と予防方法

アデノウイルスに対する特効薬はなく、基本的には症状を和らげる対症療法が中心です。アルコール消毒の効果が効きにくいいため、85℃以上の熱水消毒や次亜塩素系による環境消毒が良いとされます。また、タオルの共有をさけ、手洗いうがいをこまめに行いましょう。